

きずな

VOL.002
2012.10.15

〒300-3257

つくば市筑穂1-10-4 (大穂庁舎内)

TEL : 029-879-5199

FAX : 029-879-5198

<http://www.tsukuba-sc.com>

発行 (公社) つくば市シルバー人材センター 編集・企画・広報部会



科学万博記念公園
科学の門

EXPO



平成二十四年度 事業計画中間報告

総務部会

総務部会が二十四年度の活動方針として取組んでいる課題の実施状況を報告します。

- 一. 経営改善
 - ア) 経営の健全化：月次の予算管理の徹底をし、早期に経営上の問題点を解決する
 - イ) 財政基盤の確立：コスト管理の徹底
 - ウ) 事業拡大：就業開拓の推進

- 二. リフレッシュ講習会：一年二回実施
 - ア) シルバー人材の基本理念
 - イ) 適正就業と安全対策
 - 講話・参加者によるフリーディスカッション

- 三. 長期就業者対策
 - ア) 五年超え継続勤務者への対応：地区説明会、事務局だよりの活用
 - イ) お客様に対する事前説明及び協力依頼

- 四. 安全対策
 - ア) 健康診断書の提出
 - イ) 安全就業の推進
- 五. (新) 例規集の配布

六. 中長期計画策定小委員会の設置
以上が今年度の事業計画です。それでは、総務部会としての中間報告を記述します。

今年度は、シルバー人材センターの節目となる変換期を迎え、あたふたとした日々の中で総務部会を発足させ、部員も初めての試みによる一般会員からの公募方式を取り、自発的に参画を願ひ、発展成長を願う新進気鋭の会員(岡本進・遠藤忠・東條三郎・橋本憲明・福田征男)の方々と理事二名から成る七人の侍で構成しております。部会会議を二回行い、六項目の活動方針のなかから、第二、第五、第六項について具体的に施策方針を検討致しました。

◆ 第二項目のリフレッシュ講習会については、第一回目を開催日時平成二十四年十一月下旬に、対象会員平成二十一年入会者(一六七名)

- ・ 講習内容 講話
 - ・ スライドによる講習
 - ・ グループディスカッション：参加者全員によるディスカッション
- を計画致しました。会員の参加を熱望するものです。

- ◆ 第五項目の(新)例規集の配布は、会員全員に配布を目的としている為、
 - ① 例規集の条文をそのまま引用するのでなく、出来るだけ分かり易い表現の文書とする。
 - ② 出来る限り図表やイラストを挿入して分かり易くする。
 - ③ 必要に応じて関連規程名を付記し詳細内容は例規集を参照できるようにする。



等、具体的に、部員一人ひとりに、レシピの項目順に分かり合い責任をもつて製作することとし、年内に素案をまとめる事にしております。

◆ 第六項目の中長期計画策定小委員会については、ワーキンググループ形態をとり、別所部会長・福田副部会長・東條・橋本・遠藤と一般会員の公募による参画者の山内衛の六名で年内完成を目標に活動する事を内定しております。

◇ 次いで関連部会との綿密な打合せ・連携を保ち推進して行くことが必要と考えている項目

- 第一項
 - ア) 経営の健全化
 - イ) 財政基盤の確立
 - ウ) 事業拡大：この項目は中長期計画との関連が大

第三項：長期就業者対策
第四項：安全対策
これら三項目については、試案を作成し実行して行く所存です。

事業部会

新体制がスタートし第三回部会会議を九月十日(月)に開催いたしました。事業部会で行われる議題は、多岐にわたり、時に二十四年度後期から二十五年度来期に向けての議題が重要議題の一つになっております。

来年度には緊急雇用対策事業終了に伴う大幅な事業削減や補助金の削減など予測されており、この問題に対する対策急務となっております。

具体的な対策として、以前より部会内で行われていた就業開拓活動をより充実させる為に今期は会員さんから公募し、私を含む十名の経験・人柄・ヤル気の有る方々を就業開拓員として活動を始めました。

八月三十一日(金)に第二回の就業開拓会議を行い、就業開拓委員会リーダー板橋正雄、サブリーダー田口真人を選出し決定をいたしました。同時に新規就業開拓に向けて、役所、民間、子育て、福祉、介護、その他の各分野別担当の就業開拓員をきめ、即実践行動に入っております。また、新しく大穂に就業相談室の開設に向けて準備に入りました。

就業先(会員)と就業先(お客様)とのミスマッチング防止、就業先(会員)のカウンセリング、就業先(求人)情報の掲示などを行い多くの会員さんが気軽に立ち寄り、閲覧や相談また会員さん同士のコミュニケーションの場として活用して頂き、オープンなシルバー人材センター運営を目的としております。

尚、付随して会員各員の経験・技能・資格・その他など情報のデータベース化進めたいと考えております。就業先の採用条件や要望などに迅速に対応する為と就業先とのミスマッチング防止、未就業者対策のために

【安全適正就業の徹底】

安全委員長 太田 武夫

平成二十四年度の第二四半期も残すところ、わずかになりましたが九月に入っても猛暑の続く中、就労されている会員の皆さんは、日頃から健康に留意され邁進されている事と存じます。

特に屋外作業は、夏の酷暑、冬の筑波おろしのからつ風に時として見舞われるニッパチ(二月、八月)といつて作業効率が悪く、体調管理も一段と気を使う季節です。

定例安全パトロールその他で各作業現場を巡回しておりますと、就労されている皆さんは、暑さ対策、害虫対策等に注意しながら、互いに意思の疎通を図り、無事故無災害を目標に努力されております。しかし、ここで今年度に入ってから災害発生状況を振り返りながら、どうすれば同じような事故を防ぐことが出来るかを考えて見たいと思います。

まず、経過を論ずる前に三年前から始めた当センターの「無災害達成表」は、事務局入り口の壁に貼ってあります。前日まで就労されている全員が無災害だったか、休業災害か、不休災害か、色別に見やすく表示されています。事務局に立ち寄った時には是非ご覧下さい。

(飯野職員が中心になって、毎日書き込んでいます)

☆災害発生状況(四月～八月)

・四月 皆さんのご努力で無災害の一ヶ月間でした、お礼申し上げます。

・五月～七月：休業災害各月一件

手の指とその間を五～七針縫うほどの痛ましい事故になりました。事故後現場に向き、本人はもとより班長立ち合いで原因と対策について検討してきましたが、このくらいは大丈夫と言った安易な判断が大きな

負傷災害に発生しました。特に、固定された動力機械や持ち運び自由な電動工具類の不具合が生じた時、または、手作業に移る時などは、「必ずスイッチを切つて次の作業動作」に入るべきところを、回転作動させたまま近くで手作業を始めたところ、接触し、負傷したものです。これらはいずれも「安全就業の基本」が守られてなかったため発生した事故です。

・八月：物損事故二件

四輪草刈機での石ハネによる一件は、駐車中の車。もう一件は走行中の乗用車の側面に小石がハネて傷ついた事故です。

作業現場によつては、もともと更地の時にバラ石などが敷かれてある非常に作業条件の悪いところもありますが、契約時や作業に入る前に、この仕事は安全に完了させることができるか否か、自分なりに判断をして、出来ないなら「断る、強い意志」と、受けたならば最後まで責任を持って、安全就業を貫いて、いい仕事をして頂きたいと思えます。

作業シーズンに入るに当たっては、安全作業に万全な準備と心構えをもって、その現場にふさわしい作業手法を取り入れて進めて下さるよう、班長・リーダーには、文書でお願いしました。今後も安全講話などでも広く呼びかけて行き不安全行為撲滅に向かって、一緒に進んで行きたいと考えています。この四月から公益社団法人に名称が変更されましたが、組織を運営して行く上で責任の所在を各部門別に明確にすべく一段と厳しい指導を受けています。

どうかそれぞれの場所で就労される皆さん、決められた安全基準は確実に守り実行して下さい。

急ぐことは有りません。安全第一は、万国共通で全てに最優先することをもう一度振り返ってみませんか。

シルバー・ドライバースeminarを受講して

榎原敬一

平成二十四年九月十日(月)九時～十一時、学園中央自動車学校で会員三十五名(うち女性一名)がセミナーを受講しました。セミナーは、三班に分かれ、実技指導、運転適性検査、記憶力検査、アンケートが実施されました。実技は車で一名づつ、教習所のコースを一巡。運転適性検査では、テレビ画面の信号の色にどう反応するかをテストして、結果が本人に知らされました。記憶力検査は、文字通り記憶力が試されました。

「茨城県の八月末までの高齢者の事故死亡者は九十二名で全国十一位。つくば市は、市町村別で行方市に次いで第二位。時間帯は十六時から二十時が多いと言う結果が出ている。」と教えられました。

つくば市は、車社会のため、自家用車を運転する機会が非常に多いと思われ、そのため、運転事故を起こさないよう、事故に巻き込まれないよう、それぞれが自覚しなくてはいけないと思います。

最後に先生方の講評でぜひ守ってほしい要望がありましたので列記します。

- ①前方注意
- ②安全確認
- ③ちよつとした油断をしない。

このセミナーは、次回も有ると思いますが、緊張できる良い機会ですので、自分のために参加して下さい。



編集後記

八月十日、新部会員による初の広報部会を開催し、部長、副部会長の選出及び、平成二十四年度広報部会の事業計画について確認しました。

就任後、すぐに「まつりつくば2012」があり、シルバー人材センターでは、アンケート調査や網戸の張替えの実演等を実施しました。いくつかの反省点や課題はありましたが、無事終了することができました。また、普及啓発強化月間十月の活動として、市内住宅団地へティッシュ等をポスティング、駅前周辺にてティッシュ等配布を実施します。現在、「事務局だより」で掲載している「就業のご案内」をよりタイムリーにお知らせするため、ホームページへの掲載を考えています。今後とも会員の皆様に役立つ情報を「きずな」事務局だより」で提供していきます。

データベース化は重要ではないかと思っております。
上記就業相談室および情報のデータベース化推進に会員の高山廣、大森恵司、板橋正雄、事務局長谷川の四名を進めており具体的に次第皆様に「ご報告を致します。

おわりに、毎日を明るく活動されている会員さんが大勢いらしゃいます。仕事がある喜び、自分を必要としている場所がある喜び、新しい事に挑戦し新たな創造が生まれ明日(未来)が来る事を素直に喜べる「心」が大切ではないでしょうか。明るく楽しい充実した「つくば市シルバー人材センター」の構築には、会員皆様の絶大なる協力と全事務局員の自覚と実践が無ければ構築できません。

「つくば」の大きく広い空、豊かな自然と季節感、筑波大学をはじめ日本の研究機関が多く集まる学園都市独特の雰囲気、そして凛とした筑波山、私たちは素晴らしいこの土地(環境)にすんでいることに感謝し、「つくば市シルバー人材センター」で地域に貢献出来る喜びを感じる豊かな心で楽しいシニアライフ(つくば生活)を送りましょう!

女性部会

平成二十四年度の女性部会の活動方針として

- ①親睦・教養を目的とした講演又は講習会の開催
 - ②「まつりつくば2012」への参加
 - ③就業に関する支援活動の一環として子育て支援事業の拡大
- を掲げております。

現在までの活動状況は、まず、部会員の参加を初の試みである一般会員からの公募で多数の希望者の参加があり、この中には二名の男性会員の参加もありました。

この方々は、子育て支援事業を独自事業として立ち上げる施策試行を検討する目的で入部されました。子育て支援事業は、多くの団体で、実施しておりシルバー人材センターとしての参画の道を探るのは大変難しいかと思えます。しかし、この事業の取組みは、永年の企画とし

て参りましたので、そろそろ形として参りたいと思っております。

①については、女性会員の活性化を図り、事業に対する参加意欲の向上をめざし、講演講習会を計画して参ります。

②「まつりつくば2012」に、部会発足から短時日ではありましたが、部員一同、一丸となつて取り組み、猛暑の中、八月二十五・二十六日にチャリティーバザー方式で、会員の皆様からご提供して頂いた品物を完売し、また多少ではございりましたが手作り作品も販売いたしました。その収益金を「つくば市竜巻被害復興」の一助となればとの思いで被災地の皆様に義援金として提供することにしております。

③子育て支援事業につきましては、独自事業として立ち上げる施策を検討して行く中で、取り組み方法・手段など真剣に話し合い、一定の方向を見出すことが出来、今後は、ゆるゆるとしか出来ませんが一歩一歩と進めて参りたいと考えております。

広報部会

【報告】

シルバー組織が先般社団法人から公益社団法人に移行されました事は皆さんの周知する事と思われませんが、新法人への移行・引継新役員の選出・各部会の事業起動まで時間が要した為、新部会長・副部会長は八月十日の第三回広報部会会議に於いて選出されました。事業計画についても次の通り協議されました。

- 一、まつりつくば2012に参加において広報活動やバザーその他
- 二、十月中のシルバー人材広告のチラシ配布について



三、シルバーニュース「きずな」十月、一月、三月に発行予定

第四回広報部会九月七日には、以下の様な活動内容について協議しました。

- 一、シルバーニュース「きずな」十月号発行掲載記事の依頼について
- 二、普及啓発強化月間十月活動について
- イ、市内住宅団地への広告・チラシ・テッシュ等のポスティング
- ロ、T文駅前周辺にて広告・チラシ・テッシュ等の配布

【まつりつくば2012参加について】

去る八月二十五日、二十六日の両日つくば市主催のまつりつくば2012に行われました。当シルバー人材センターも協賛し広報活動の一環として種々PR活動を行ってまいりました。

中央公園ふれあい広場の仮設テントに於いて女性部会によるチャリティーバザー(売上金の一部はつくば市北条地区竜巻被害に寄付)。シルバー人材センター独立事業自転車修理部門のチラシ広告配布。ふすま障子の張り替え部門では担当者による網戸張替えの実演など、日常的なシルバー実施の写真、パネル等展示会場来場者にサービスピ(レスキューシート・テッシュ)とチラシ広告の配布を行いました。広場内で多数の来場者にシルバー人材センターの仕事内容を少しでも一般に知らしめるべく、中理事長を初め各役員会員が一致協力して猛暑の中、汗を流して宣伝活動を行ってまいりました。会員の皆様、大変ご苦勞様でした。

【最後に】

今後広報部としては普及啓発活動に取り組み、広報活動を推進し会員の意識高揚運営体制の強化及び活性化を目指し、顧客の要望に対応し就業開拓に繋がる活動を展開してまいります。

先人の築いてきたシルバーの指針「自主・自立・共働・互助」の精神と意義をいつも心に置き、会員一人一人が組織に関与して尚一層の会員相互間の緊密を高め強い「絆」で助け合い発展して行く事を願っております。

理事会開催報告

平成二十四年度 第五回理事会

期日：八月十六日

場所：大穂庁舎シルバー会議室

承認事項

・新入会員 九名承認

議決事項

第一号 平成二十四年度第一回補正予算(案)について
 ・収入の部 1, 896千円独自事業配分金収入他
 ・支出の部 1, 896千円独自事業配分金収入他
 ・前期繰越収支差額 23, 070千円
 以上について原案通り可決した。

第二号 専門部会設置要綱の一部改正(案)について
 ・専門部会設置要綱、構成及び構成員についての一
 部改正が原案通り可決した。
 ※新要綱は、九月十五日事務局だよりに掲載済み

●平成二十四年度 第六回理事会

期日：九月二十日

場所：大穂庁舎シルバー会議室

承認事項

・新入会員 十四名承認

議決事項

第一号平成二十四年度第二回補正予算(案)について
 ・収入の部 13, 965千円受託事業配分金収入他
 ・支出の部 13, 965千円受託事業配分金収入他
 以上について原案通り可決した。

第二号 就業不適格会員に対する措置について
 ・就業適正委員会より、理事長に答申のあった就業
 不適格会員に対する処分について全会一致で可決
 した。

第三号 自転車部配分金単価について
 ・ランク別、配分金基準単価を設けることとし、原
 案を一部修正し可決した。

第四号 シルバー人材センターパソコン講習会の件
 ・平成二十四年度事業部会事業計画に基づき、平成
 二十四年十二月まで引き続き講習会を実施するこ
 とで可決した。

事業実績報告

平成二十四年上半年(四月～八月)

平成二十四年度も上半期が終わりました。シルバーの運営状況について八月までの概況を報告します。この期間は皆様方の努力により比較的順調に進んでいます。

○受注件数は2,262件で昨年度より約200件上回っています。
 ○受注金額は161,486千円で9,500千円上回っています。
 ○収支の状況は2,450千円で1,500千円下回っています。

平成24年度受注状況

受注先	種別	受注件数, 金額	前年度	実績
公 共	件数	332件 15%	292件	14%
	金額	49,115千円 30%	45,808千円	30%
民 間	件数	537件 24%	567件	27%
	金額	74,754千円 46%	74,762千円	49%
一般家庭	件数	1,388件 61%	1,214件	58%
	金額	35,302千円 22%	31,347千円	21%
独自事業	件数	5件 0.22%	9件	0.43%
	金額	2,315千円 1.43%	71千円	0.05%
合 計	件数	2,262件 100%	2,082件	100%
	金額	161,486千円 100%	151,988千円	100%

平成24年8月末までの就業状況

会員数	受注件数	就業延人数	契約金額	就業率
740人	2,262	28,225人	161,485千円	70.0%

七～九月

入会・退会

新入会会員紹介

伊藤 政人 茎崎
 海老原 照 茎崎
 赤坂 安信 茎崎
 笹嶋 伸廣 桜
 中井 満 桜
 野澤 稔 桜
 本橋 愛子 桜
 増田 良二 大穂
 坂口 信光 谷田部
 飯泉 松 谷田部
 渡邊 啓子 谷田部
 糸賀 祥孝 谷田部
 羽生 稔 谷田部
 大畑 節子 谷田部
 大畑 光之 谷田部
 山口 寛仁 筑波
 塚田 賢一 豊里
 酒井 久 豊里

退会会員

長谷川 和子 茎崎
 鈴木 美子 茎崎
 小林 勉 茎崎
 佐々木 栄男 茎崎
 久保田 勝 桜
 岡里 明子 大穂
 小坂 正道 大穂
 植村 とく 大穂
 山田 敬一郎 谷田部
 山口 寛仁 筑波

以上 十名

事務局日誌

8月

1日 会計月次点検
 7日 安全委員会
 8日 事業部会
 8日 女性部会
 9日 入会説明会
 10日 広報部会
 10日 総務部会
 16日 入会審査会
 16日 理事会
 22日 女性部会
 25日 まつりつくば 2012
 26日 会計月次点検
 28日 就業適正委員会
 29日 就業開拓員会議
 31日 ランク審査委員会
 31日 桜地区剪定・草刈会 議

9月

6日 総務部会
 7日 広報部会
 10日 交通講習会
 10日 事業部会
 11日 新局長研修
 12日 新局長研修
 13日 入会説明会
 14日 女性部会
 14日 (公社)定期提出書類作成研修会
 20日 入会審査会
 20日 理事会
 28日 会計月次点検



「まつりつくば2012」に

参加して

女性部会長 金井久子

女性部会としての今年度の参加は、公益社団法人に移行するための準備・諸手続等により、組織が発足し、部会員の役員の選任も間もない中で、従来のように沢山の手作り作品の製作が出来ないため、部会員と



種々話し合いを行いました。その結果、今年度は「チャリティーバザー方式」で実施しようとの意見にまとまり、急きよ事務局だより」に私たちの趣旨を掲載して頂き、会員の皆様のご家庭にある品物で、頂戴できる品物



「まつりつくば」に参加して、市民

まつりつくば2012参加して
思うこと
広報部会 村上信義

の提供をお願いしたところ、多くの方々のご協力を頂き、沢山の品物を拋出して頂きました。また、その中で、手作り人形の寄付もあり、飾りの一部を事務局に購入依頼して、部会役員と手作り作品を製作いたしました。この作業の為、猛暑・炎暑の中で、数回にわたり大穂庁舎に向い

今年も恒例となつて三十二回目を迎えるつくば市の夏の一大イベント「まつりつくば」が猛暑の続く八月二十五日と二十六日の両日つくば駅周辺で開かれました。

なお、この売上金については、「つくば市竜巻被害復興」の一助となればとの思いで、被災地の皆様へ寄付させていただく予定です。

の皆様にシルバークラフトの事業を知って頂くべく広報活動を行いました。市中央公園ふれあい広場のスポットに於いての女性部会会員による手作り小物品の販売に加えて、会員の皆様からご寄付を頂きました品物のバザー、男性会員による網戸の張り替えなどのデモンストレーションや広報部会会員によるノベルティとチラシ配布による啓蒙作戦を展開いたしました。また、前年に引き続きご来場のお客様アンケートを実施いたしました。アンケート調査にご協力を頂いたお客様が少なくなくて残念でした。ふれあい広場テント内の「コーナー」におけるレイアウトや私達の市民の方々に対する接遇や情報発信の在り方に問題が有つたのではないかと広報活動に携わる者として猛省の日々です。



無料体験者募集中!

デイサービスセンター さとこのハウス つくば学園中央では無料体験を実施しております。

ご希望の方は下記までお気軽にご連絡下さい。
デイサービスセンター さとこのハウス

Drug **でらしま** つくば学園中央となり

〒305-0033 茨城県つくば市東新井25-2
TEL:029-850-3878 FAX:029-850-3908

【営業時間】8:30~17:30 【営業日】月曜日~土曜日
【サービス提供時間】9:00~16:00(延長も可能です)
【サービス提供エリア】つくば市内全域・土浦市(要相談)
お問い合わせは、デイサービスセンターさとこのハウスまでご連絡下さい。

